

山陰近畿自動車道早期実現促進大会

【開催日時】平成30年10月21日（日） 13:30～15:15

【場所】アグリセンター大宮 多目的ホール（京丹後市大宮町）

【主催】丹後・地域高規格道路推進協議会（舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）

【後援】京都府、京都府高速道路網整備促進協議会

【内容】1 オープニング 2 開会宣言 3 主催者挨拶 4 来賓祝辞
5 来賓紹介 6 祝電披露 7 基調講演 8 意見発表
9 大会決議 10 がんばろう三唱 11 閉会挨拶

【参加者数】約330人



オープニング
浦嶋太鼓保存会（京丹後市網野町）



副会長（伊根町長）
吉本 秀樹

【開会宣言】
京都縦貫道開通で当地の入込客が2～3割増えた。やっぱ道路でしょう！繋がってナンボであります！



会長（京丹後市長）
三崎 政直

【主催者挨拶】
丹後地域には山陰近畿自動車道が必要。早期実現に向け地域一丸となって取り組んでいく。

基調講演 「道路行政をとりまく最近の話題について」 国土交通省道路局長 池田 豊人氏

山陰近畿道は国の重要路線 早急にやりたい



大宮峰山道路を国が直轄権限代行で事業中だが、山陰近畿自動車道は国としても大事な道路。伊根町長が「繋がってナンボ」と言われたがその通りで、ミッシングリンクが繋がってくると、新しい日本の経済軸が出来てくる。持論では、人口が減少する中で、これまでの太平洋等国土軸の他に、新しい経済軸を作っていく必要があると考えている。新経済軸を考える上で大事なものは、近道（インコース）である。北海道、東北から西日本にモノを流すには、日本海側を通った方が近く、物流において非常に有利。日本海軸をモノが流れることで、日本海側のためだけでなく、日本全体の新しいけん引力になる。このように、山陰近畿道は地元だけでなく、日本にとって大事な事業であり、皆さんの協力も得て早急にやりたい。

来賓祝辞

道路事業の推進には**地元**の**熱意**が非常に重要！！



衆議院議員
本田 太郎 様

地元での観光客増加や企業立地などの整備効果を実感している。道路延伸により地元を通過される心配の声もあるが、道路整備により他地域との競争が可能になる。



衆議院議員
竹内 譲 様

道路整備は災害時の代替路確保やインバウンド推進の観点からも重要。しかし、道路事業は全国との戦いでもあり、本日のような地元の盛り上がりがとても大切。



京都府知事
西脇 隆俊 様

最近の相次ぐ災害で高速道路の重要性をあらためて痛感した。国土政策上も、山陰近畿道のミッシングリンク解消は重要。京都府も頑張るが、地元の熱意が不可欠。



京都府議会議長
村田 正治 様

道路は、物流拡大や医療機関へのアクセスなど我々の生活の要。観光面など地域活性化にも不可欠。府議会としても公共インフラの計画的な実現に全力で取り組む。

意見発表

道路整備は地域活性化のチャンス！！



荒山未来塾
代表 荻野 真作 氏

道路の早期実現と合わせて、丹後に人を呼ぶ将来展望が必要。丹後でしか体験できないことなどを提供するパーキングエリアを設置するなどしてはどうか。



京丹後市移住支援センター 丹後暮らし探究舎
移住相談員 坂田 真慶 氏

道路延伸で心理的な距離も一気に縮まった。来訪体験の積み重ねが移住につながる。道路整備と連携し、滞在できる場所、コミュニティが作れる場所づくりが重要。



京都府立網野高等学校 企画経営科3年
坪倉 真真 さん・上田 奈於 さん

道路延伸による移動時間短縮で京都市内の高校生との地理的不利が軽減された。企画経営科で企画する日帰りツアーでも、より多くのスポットを案内できるようになる。



会場全体で「がんばろう三唱」(発声：松本京丹後市議会議長)



副会長 (舞鶴市長)
多々見 良三

【大会決議】
山陰近畿道の整備で、丹後地域の更なる飛躍のと、北近畿の地域間交流の活性化が一層促進される。



副会長 (宮津市長)
城崎 雅文

【閉会挨拶】
将来に夢と希望の持てる丹後地域を実現するため、住民と行政、関係諸団体が一致団結し、努力する。